

QAFECTIA

キッチンエアクリナー
(IHクッキングヒーター専用室内循環フード)

取付説明書



(ソフトスイッチタイプ)

も く じ

■ 安全上のご注意.....	2・3
■ 取り付け上のお願い.....	4
■ 取り付け前の調査と準備.....	5・6
■ 各部の名称・製品寸法図.....	7
各部の名称.....	7
製品寸法図.....	7
■ 付属品.....	8
■ 取り付けかた.....	9～18
1. 付属品の確認.....	9
2. 本体の取り付け.....	10・11
3. 電気配線.....	12・13
4. 循環ユニットの取り付け.....	14～17
5. フィルタボックスふたおよび前ふたの取り付け.....	18
6. ルーバーの調整.....	19
7. 試運転.....	19
8. お客様への説明.....	19

販売店・工事店様へ：

この取付説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
正しく取り付けをおこなってください。

1J03 0283



安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

：人が軽傷を負う可能性および物的損害*の発生が想定される内容。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区別し、説明しています。

絵表示の例



○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

警告



使用禁止

- IHクッキングヒーター以外には使用禁止
ガスコンロには使用できません。
本製品は燃焼発生ガスを浄化できません
ので、一酸化炭素中毒の原因となります。



換気をする

- 燃焼器具と併用して使用する場合は、
必ず換気をする
本製品は屋外への排気および換気をお
こないません。
カセットコンロ、石油ストーブ等の燃焼
器具を使用する場合、必ず別途換気を
おこなってください。
一酸化炭素中毒の原因となります。



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解
したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがを
することがあります。



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線
規程に従って法的有資格者が工事を
おこなうこと
誤った配線工事は感電や火災のおそれ
があります。



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になる所には取り
付けないこと
火災・故障の原因となります。



取付注意

- キッチンエアクリーナーの取り付けは、
薄板の金属部（壁内ラース網など）と
接触しないようにすること
漏電した場合、発火するおそれか
あります。



埋込禁止

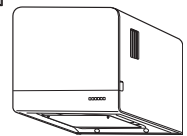
- キッチンエアクリーナーの壁への埋め
込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれか
あります。



使用禁止

- 交流 100 V 以外で
は使用しないこと
火災・感電の原因
となります。

100V

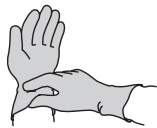


注意



手袋をする

- 取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけが
をするおそれがあります。



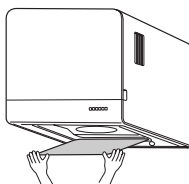
取扱注意

- 作業は2人以上でおこなうこと
製品本体（循環ユニットを
除く）は約 30 ～ 35kg の
重さがあります。



取付注意

- ファンや部品の取り付け
は確実にすること
落下によりけがをする
おそれがあります。



取付注意

- 本体の取り付けは十分強度のあるところ
を選んで確実にすること
落下によりけがをする
ことがあります。



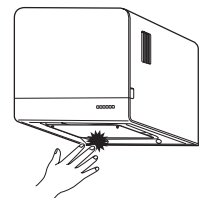
使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使
わないこと（浴室用換気扇をお使いく
ださい。）
感電および故障の原因になります。
（本製品には換気機能はありません。）



接触禁止

- 運転中はファンの中
に指や物を絶対に入
れないこと
けがをするこ
とがあります。



取り付け上のお願い

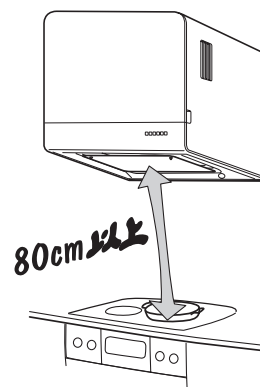
- 下記は「建設工事」に区別され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- 大工事
(設置のための地下工事等)
- 配線工事
(コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用
以外の配線接続等)

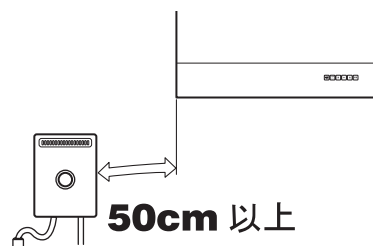
流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- キッチンエアクリナーは、屋外への排気をしません。
備え付けのIHクッキングヒーター以外の燃焼器具を使用するには、キッチン全体の換気のため、別の換気設備が必要です。
- キッチンエアクリナー本体と可燃物との間は10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。
- IHクッキングヒーターの幅はキッチンエアクリナーの幅以内のものをご使用ください。
またIHクッキングヒーターはキッチンエアクリナーの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集効率が低下します。

- 電源は専用のコンセントおよびブレーカを設けてください。火災・故障の原因となります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 製品はIHクッキングヒーターの真上に取り付けてください。なお、製品取付高さは、製品の下端がIHクッキングヒーターの真上80cm以上になるようにしてください。



- キッチンエアクリナー下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。



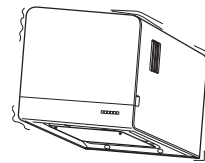
取り付け前の調査と準備

⚠ 注意



取付注意

- キッチンエアクリーナー本体の取り付けは、十分強度のある取付面または補強枠等に確実に起こすこと
落下によりけがをすることがあります。
壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。



お願い

キッチンエアクリーナー取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。

本体の取付用ねじは 45mm の長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。また、キッチンエアクリーナー本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

1 取付面の強度確認

製品を支える強さが必要です。

製品幅 (mm)	600	750	900
フード部 ※1	28kg	32kg	35kg
製品全体 ※2	45kg	48kg	51kg

※1：取り付けで最初に持ち上げる質量

※2：最終的に壁にかかる質量

■ 板張りの場合（取付面は必ず不燃処理をおこなってください）

- 板厚が 20mm 以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板にキッチンエアクリーナーを取り付けてください。
- 板厚が 20mm 以上の場合は補強板は不要です。

■ コンクリート、タイル壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

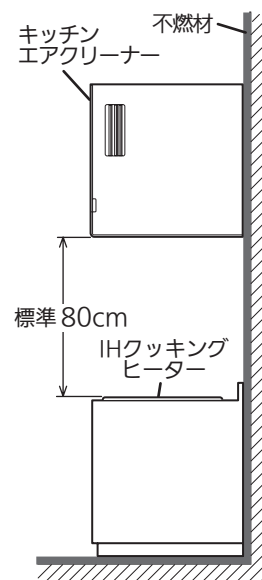
■ 土壁の場合

- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

2 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、IHクッキングヒーターの上面から製品の下端まで 80cm です。

※ 火災予防条例では、グリス除去装置の下端が調理器具の真上 80cm 以上必要となっています。

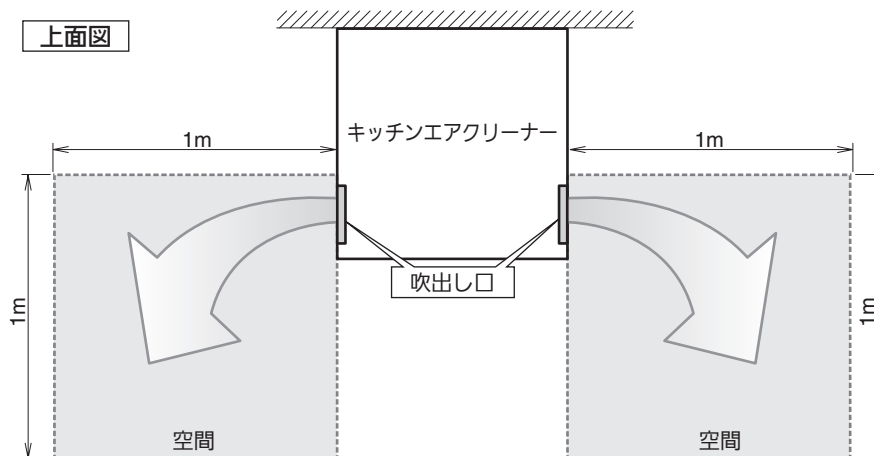


取り付け前の調査と準備

■ 吹出し口空間寸法

吹出し口がふさがれると吸い込み不良が発生します。キッチンエアクリナー吹出し口周辺には必ず下図に示す空間を設けてください。

※ ただし片側をふさがり板でふさぐ場合（15 ページ参照）は、ふさいだ側に空間を設ける必要はありません。



3 電源線

警告

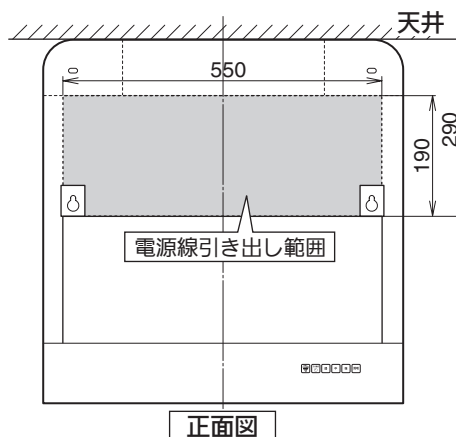
● 必ず専用のブレーカを設置し、取付作業の際はブレーカを切ること

ブレーカを切らずに作業するとショート、感電やけがのおそれがあります。

ブレーカを切る

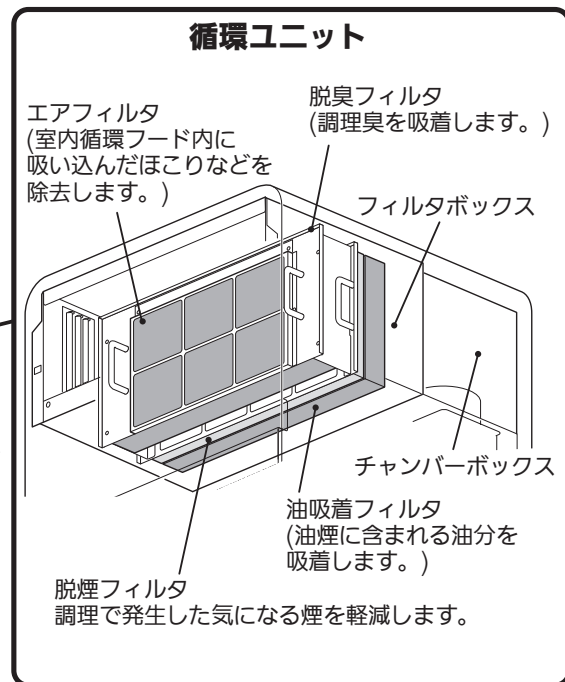
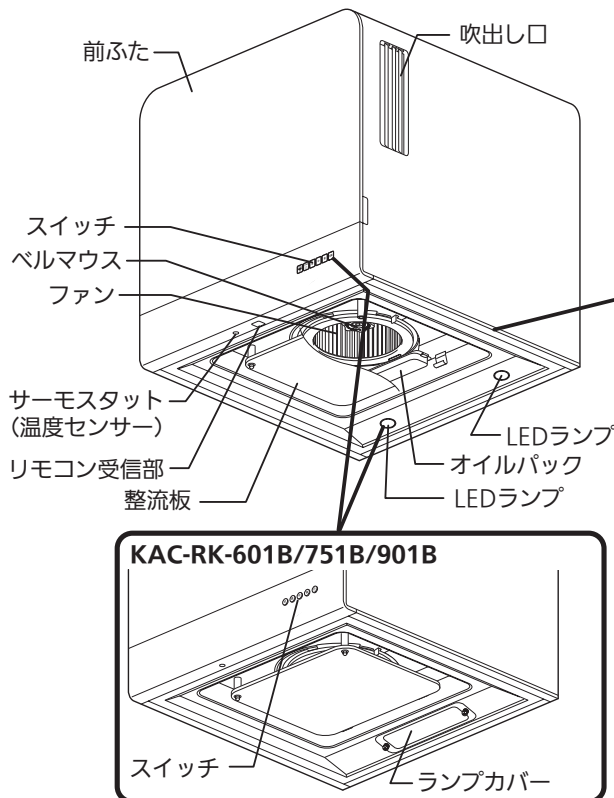
- ・ 製品寸法図を参照して、事前に本製品を取り付ける天井部または取付壁面から電源線を引き出しておいてください。
- ・ 電源線は VVF ϕ 1.6 ~ 2.0 の単線を使用してください。より線は使用しないでください。

天井とレンジフードの間にすき間がない場合 は背面側から引き出してください。

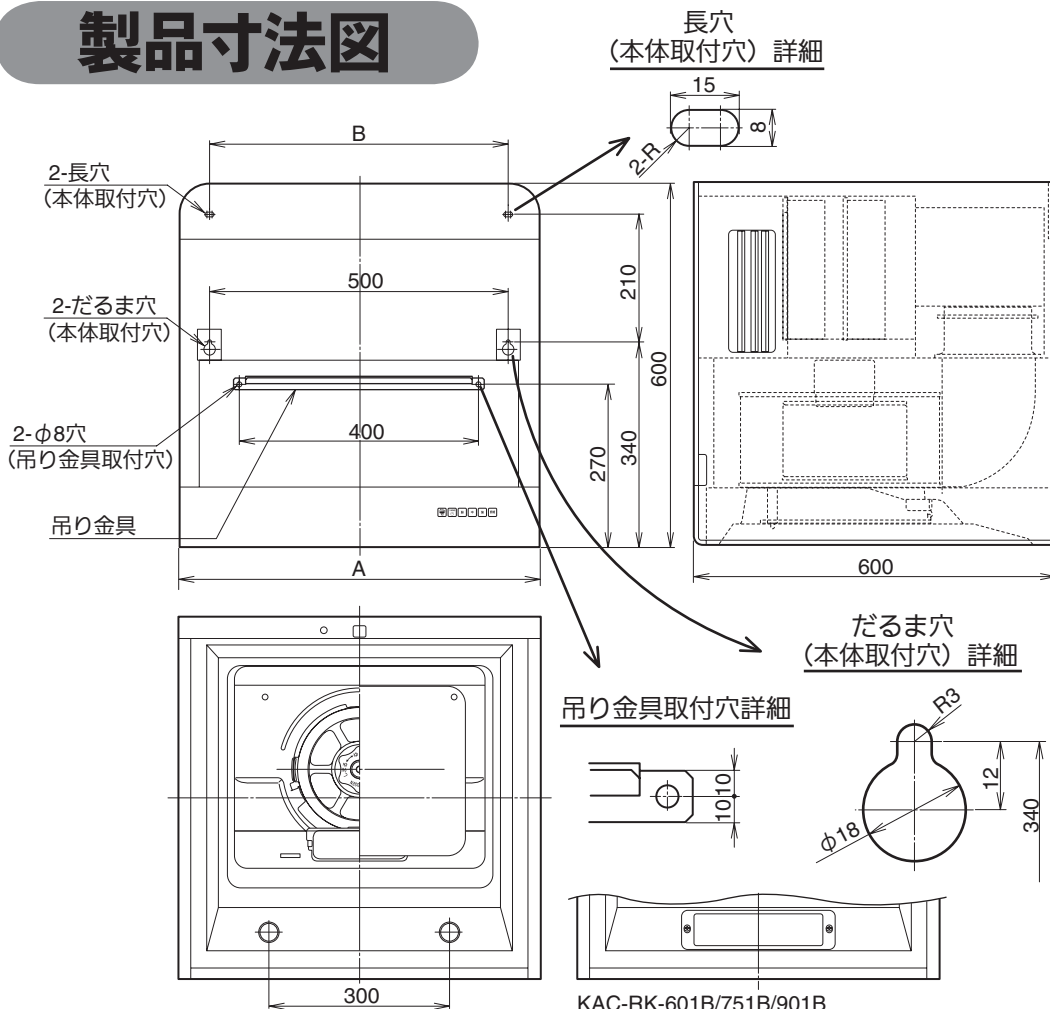


各部の名称・製品寸法図

各部の名称

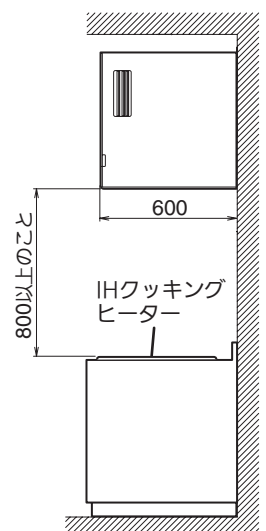


製品寸法図

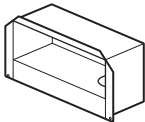
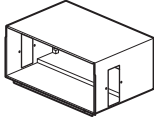
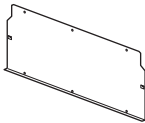
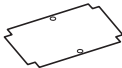
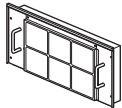
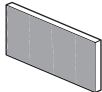
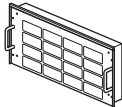


	A寸法	B寸法
KAC-RK-601	600	500
KAC-RK-751	750	650
KAC-RK-901	900	800

標準設置例



付属品

■製品付属品		
	座付ねじφ 5.1 × 45 (6本)	本体の取り付けに使います。
	取付ねじ M4 × 10 (26本)	循環ユニットの取り付けに使います。
■循環ユニット付属品 (別梱包)		
	チャンバーボックス (1個)	循環ユニットの構成部品です。
	フィルタボックス (1個)	
	フィルタ取付台 (L),(R) (各1個)	
	フィルタボックスふた (1個) ※ フィルタボックスにテープ で固定されています。	
	ふさぎ板 (1個)	循環ユニットの構成部品で、吹出し 口の片側に吊り戸や壁があるときに 使います。
	吊り金具 (1個)	本体の取り付けに使います。
	脱臭・エアフィルタ (1個)	循環ユニットの構成部品です。
	脱煙フィルタ (1個)	
	油吸着フィルタ (1個)	

取り付けかた

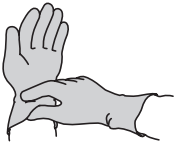
1. 付属品の確認

**注意**



手袋をする

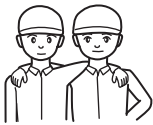
- 製品取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。





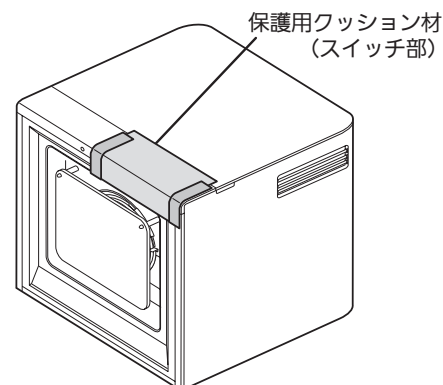
取扱注意

- 作業は2人以上でおこなうこと
製品本体（循環ユニットを除く）は約 30 ～ 35kg の重さがあります。
（循環ユニットは合計で約 15kg の重さがあります）



1 前ふたおよび整流板に固定テープで貼り付けられている取付説明書と取扱説明書を取りはずしてください。スイッチ部の保護用クッション材とテープは「7. 試運転」（19 ページ）まではずさないでください。

2 製品および循環ユニット梱包箱から付属品を取り出し、前ページの付属品一覧により不足がないか確認してください。



お願い

- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- ・ 各種フィルタ類の取り扱いには十分ご注意ください。落下させたり強くぶついたりすると、フィルタ内部を破損するおそれがあります。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズをつけないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

取り付けかた

2. 本体の取り付け



警告



ブレーカを
切る

- 取付作業の際は必ず分電盤の専用ブレーカを切ること
ブレーカを切らずに作業すると感電やけがのおそれがあります。



注意



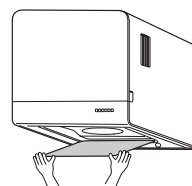
取付注意

- 本体の取り付けは十分強度のあるところ
を選んで確実に起こなうこと
落下によりけがをすることがあります。



取付注意

- 部品の取り付けは確実に起こなうこと
落下によりけがをすることがあります。

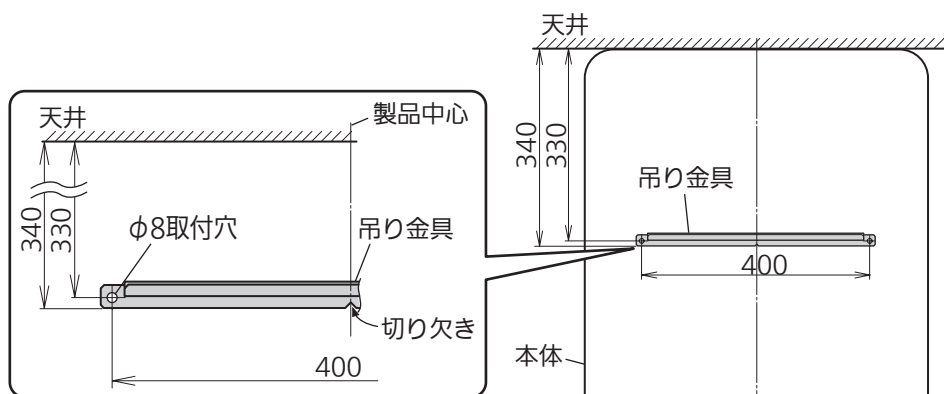
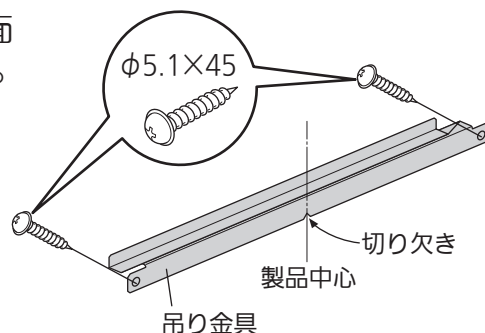


1 吊り金具を取り付けます。

製品寸法図および下図を参照して、取り付ける場所の壁面に座付ねじ（ $\phi 5.1 \times 45$ ）2本でしっかりと固定します。

お願い

- ・ 吊り金具下端から天井までの寸法は 340mm 以上としてください。
高さが足りない場合、本体を吊り金具に引っ掛けることができません。
- ・ 本体の天面が天井面に接するようにして取り付ける場合、吊り金具の
取付位置については下図を参照してください。



天井に接して取り付ける場合の吊り金具の取付寸法

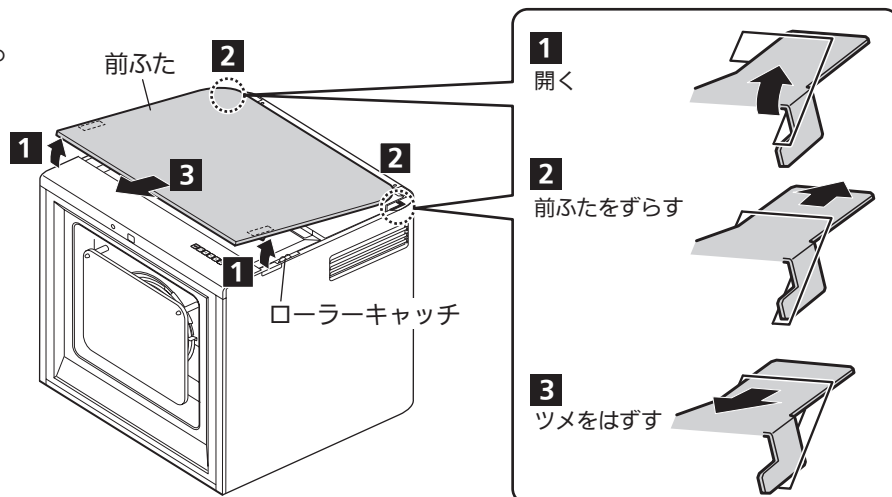
取り付けかた

2 本体の前ふたをはずします。

前ふたの上部はツメ（左右各1ヶ所）で、下部はローラーキャッチ（左右各1ヶ所）で取り付けられています。

1) 固定テープをはがします。

2) 下側を引き上げてローラーキャッチからはずし、上に少しずらして上部のツメを本体からはずします。



お願い

ツメがはずれるのを確認しながら引き上げてください。

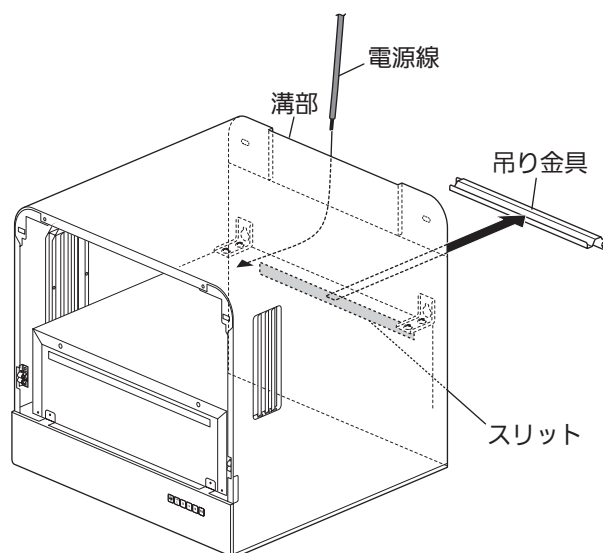
ツメがかかったままで無理に開こうとすると取付部が変形・破損するおそれがあります。

3 本体を吊り金具に引っ掛けます。

手順1で取り付けした吊り金具に本体背面のスリット部を引っ掛けます。この段階で、天井部から出ている電源線を本体内部に引き込んでください。

※ 電源線は本体後側の溝部を通して内部に引き込みます。

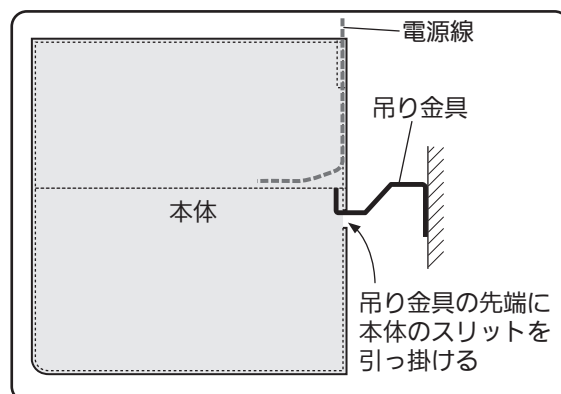
※ この段階ではまだ本体背面と壁面との間に若干のすき間があります。



お願い

本体を吊り金具に引っ掛けたまま長時間放置しないでください。

本体が変形、破損するおそれがあります。



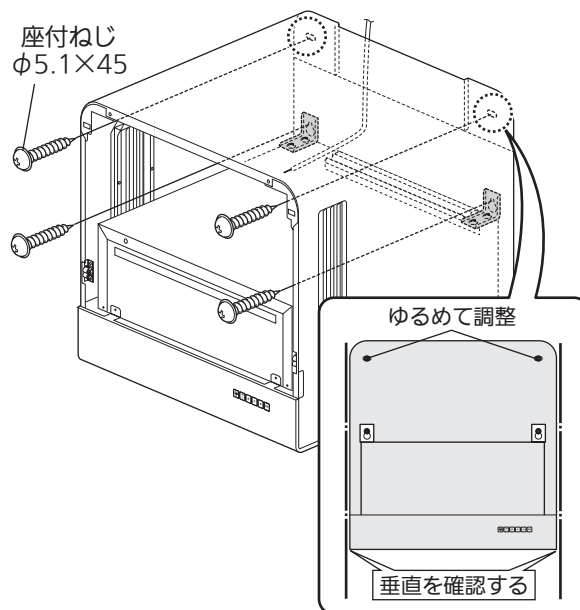
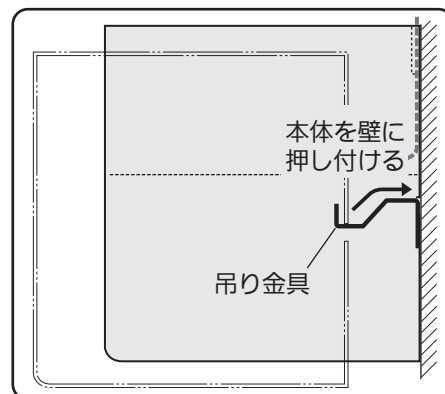
取り付けかた

4 本体を壁に押し付け、 座付ねじ4本で固定します。

- 1) 本体を吊り金具に沿って少し押し上げるようにしながら、本体背面が壁面に接するまで押し付けます。
- 2) 本体中央のだるま穴（左右各1ヶ所）に付属品の座付ねじ（ $\phi 5.1 \times 45$ ）をしっかりと締め付けて固定します。
- 3) 本体上部にある穴（左右各1ヶ所）に付属品の座付ねじ（ $\phi 5.1 \times 45$ ）をしっかりと締め付けて固定します。

お願い

- ・ 本体背面と壁面との間にすき間がないことを確認してください。
- ・ 製品が垂直に取り付けられたことを確認してください。傾いている場合は3) で取り付けた座付ねじを少しゆるめ、外装を垂直に合わせて再度しっかりと締め付けて固定してください。
- ・ 電源線やアース線が挟まっていないか確認してください。



3. 電気配線

警告



ブレーカを切る

- 必ず分電盤の専用ブレーカを切ること
切らずに作業をすると感電やけがのおそれがあります。



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります。



取付注意

- 電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。

取り付けかた

端子台に電源線を接続します。

お願い

- ・必ず分電盤のブレーカを切って作業してください。切らずにおこなうと感電やケガのおそれがあります。
- ・端子台への接続電線は、VVF ϕ 1.6 ~ 2.0 の単線を使用し、より線は使用しないでください。
- ・接続を間違えないでください。ショートする危険があります。
- ・電線挿入時は確実に差し込んでください。挿入が不十分な場合、端子部が過熱し火災のおそれがあります。
- ・電線の充電部は必ず絶縁処理をしてください。感電のおそれがあります。
- ・必ずアース (D 種接地工事) をしてください。アース線は、端子台の電線穴3 (PE) に取り付けてください。
※ アース線は取付作業側にて手配してください。

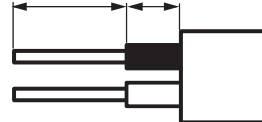
1) 電線被覆2本をストリップゲージに合わせてむきます。

お願い

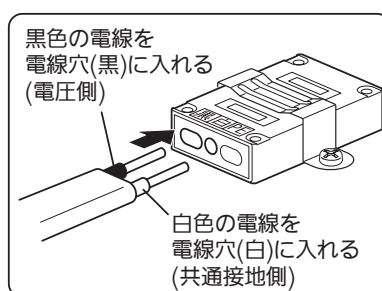
必ずストリップの長さを確認してください。

ストリップゲージ

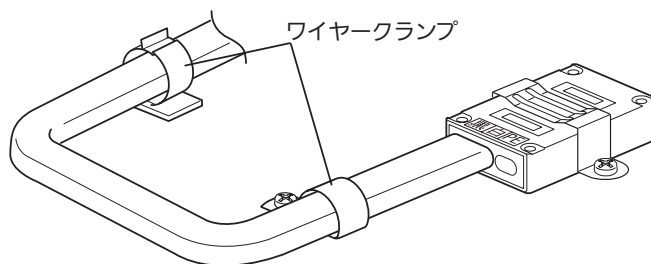
15mm 7mm



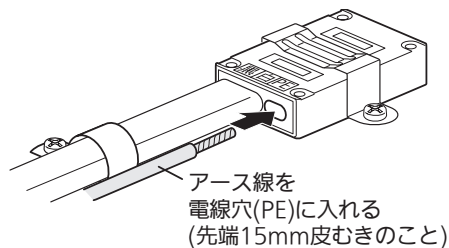
2) 端子台の電線穴に芯線を2本同時に奥まで差し込みます。



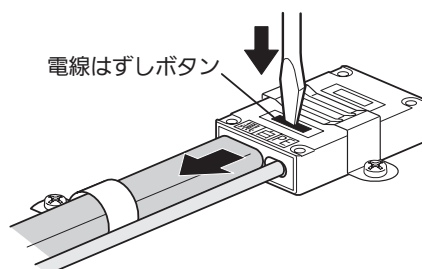
3) 充電部の露出がないことを確認し、ワイヤークランプにて電線を固定します。



4) アース線の先端を 15mm 皮むきし、電線穴3 (PE) に差し込みます。



※ 電源線ははずすときはマイナスドライバーで押しながら電線を引き抜きます。



取り付けかた

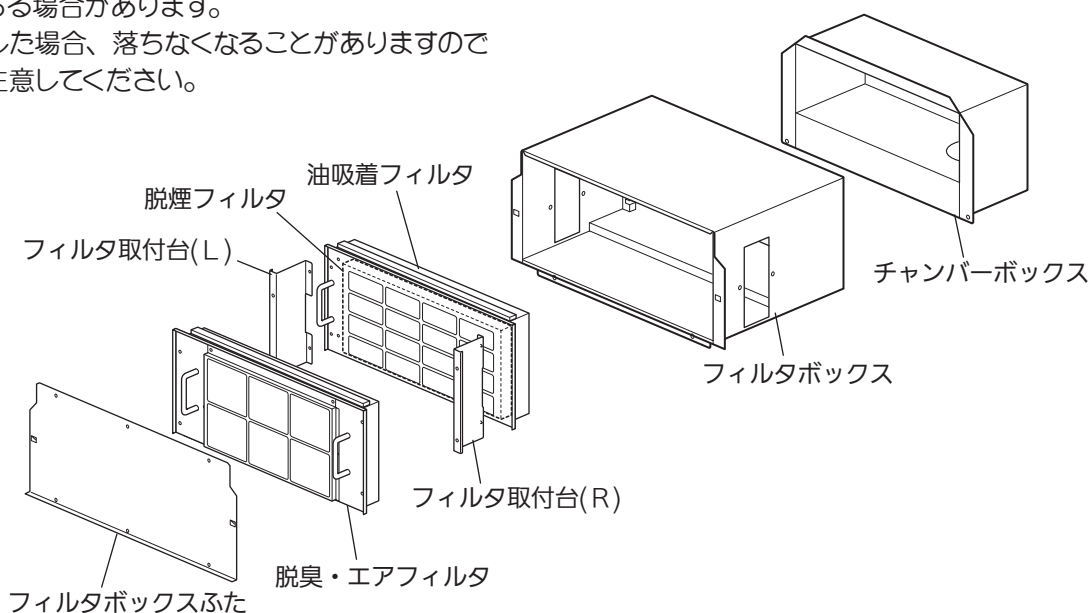
4. 循環ユニットの取り付け

循環ユニットは下図の部品で構成されています。

※ 製品出荷時、脱煙フィルタはユニット内に組み込まれていません。(本取付工程にて取り付けます。)

お願い

- ・ 各種フィルタ類の取り扱いには十分ご注意ください。
落下させたり強くぶつけたりすると、フィルタ内部を破損するおそれがあります。
- ・ フィルタの粉が落ちる場合があります。
粉が衣服等に付着した場合、落ちなくなることがありますので
取り扱いには十分注意してください。

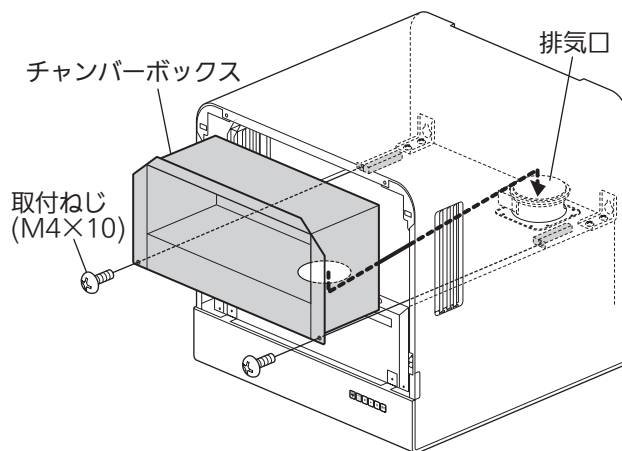


1 本体にチャンバーボックスを取り付けます。

排気口にあたらないようチャンバーボックスの後部を少し持ち上げるようにしながら本体奥まで押し込み、下側左右を付属品の取付ねじ (M4 × 10) 2本で固定します。

お願い

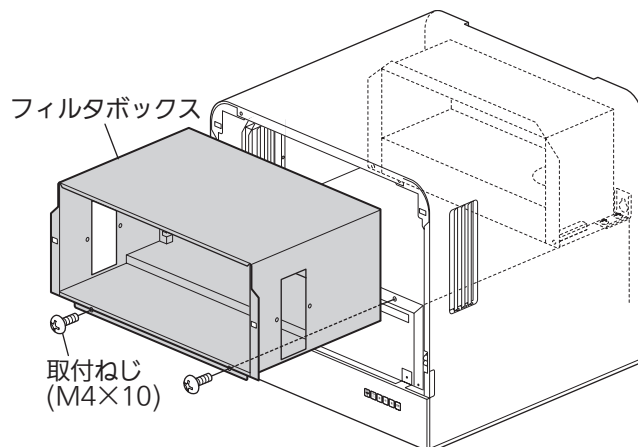
- ・ チャンバーボックスの開口部 (丸穴) と排気口が合っていることを確認してください。
- ・ 電源線やアース線を挟まないよう注意してください。



取り付けかた

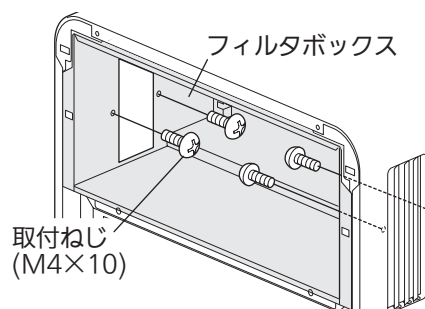
2 フィルタボックスを取り付けます。

- 1) フィルタボックスを差し込み、前側下部2ヶ所を付属品の取付ねじ (M4 × 10) 2本で固定します。



- 2) 側面左右各2ヶ所を内側から付属品の取付ねじ (M4 × 10) 4本で固定します。

※ 吹出し口的一方が壁や吊り戸でふさがれてしまう場合は下記説明を参照してください。

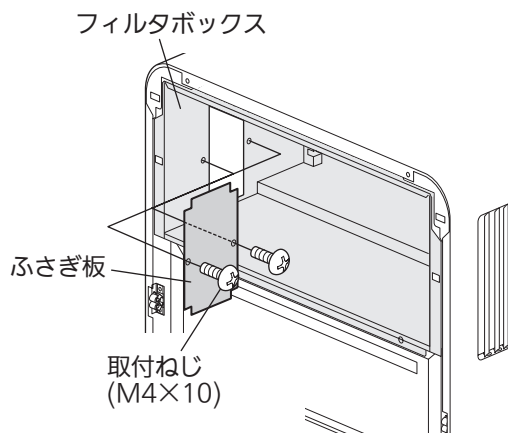


■ ふさぎ板の取り付け

本製品は側面にある左右2ヶ所の吹出し口から浄化した空気を排出しますが、取付場所によっては吹出し口のいずれか一方が壁面や吊り戸などでふさがれてしまう場合があります。この場合は付属品のふさぎ板でふさがれる側の吹出し口をふさいでください。

取り付けかた

ふさがれる側の図の位置にふさぎ板を本体内側から付属品の取付ねじ (M4 × 10) 2本でフィルタボックスと共締めして固定します。



左側が壁面の場合

※ 右側が壁面の場合は左右対称として見てください。

取り付けかた

3 各フィルタを取り付けます。

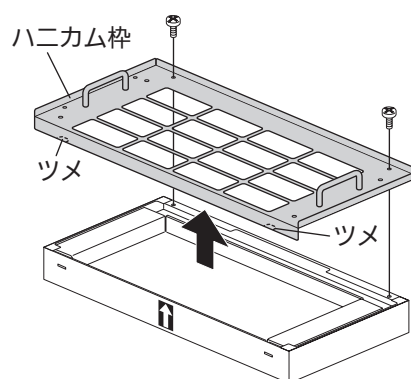
お願い

- ・ 各種フィルタ類の取り扱いには十分ご注意ください。
落下させたり強くぶつけたりすると、フィルタ内部を破損するおそれがあります。
- ・ フィルタの粉が落ちる場合があります。
粉が衣服等に付着した場合、落ちなくなることがありますので取り扱いには十分注意してください。

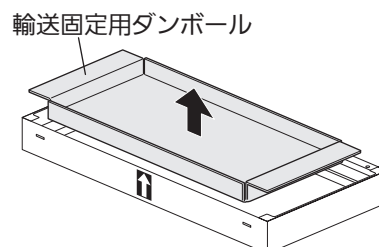
■ 脱煙フィルタの組み立て

脱煙フィルタは油吸着フィルタに重ねた状態でハニカム枠に収納され、本体に取り付けますが、出荷時は別梱包になっています。

- 1) ハニカム枠上側のねじ2本をはずし、ハニカム枠を開きながら、下側2ヶ所のツメをフレームからはずして取り除きます。



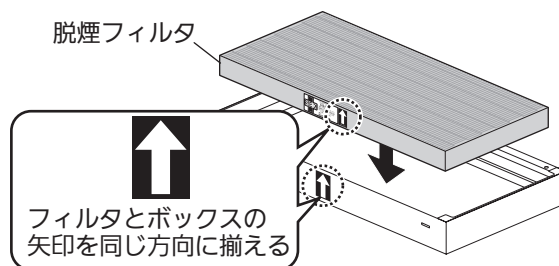
- 2) 輸送固定用ダンボールを取り除きます。



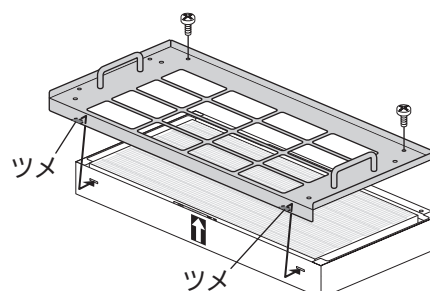
- 3) 脱煙フィルタを袋から取り出し、ボックス下側の矢印ラベルの方向と揃えて脱煙フィルタをセットします。

お願い

必ず脱煙フィルタとボックス下側の矢印を揃えてセットしてください。誤った取り付けをすると性能が悪化したり、吸い込みが悪くなり、異音・振動などの原因となることがあります。



- 4) ハニカム枠下側のツメをボックス下側の穴に合わせてふたをし、上側をはずしたねじ2本で固定します。



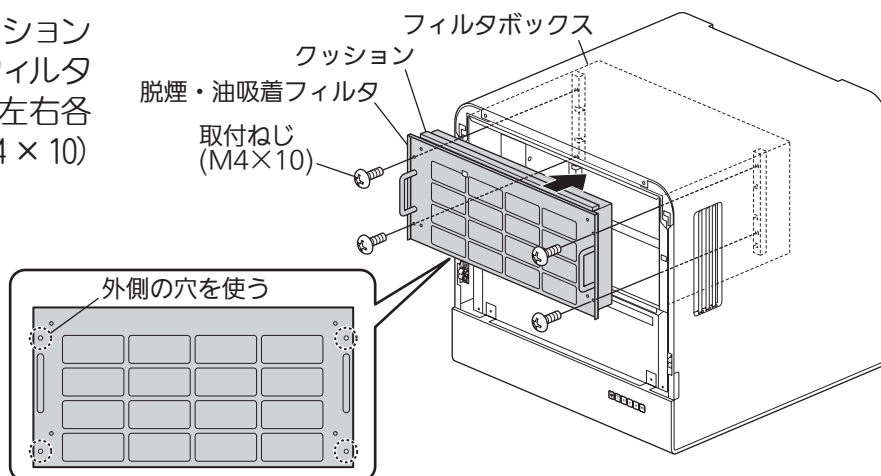
取り付けかた

■ 脱煙・油吸着フィルタ

脱煙・油吸着フィルタをクッションが貼ってある側を上にしてフィルタボックスの奥まで押し込み、左右各2ヶ所を付属品の取付ねじ(M4×10)で固定します。

お願い

取付穴は右図に示す外側4ヶ所を使用してください。
(内側の穴4ヶ所はフィルタ取付台固定用です。)

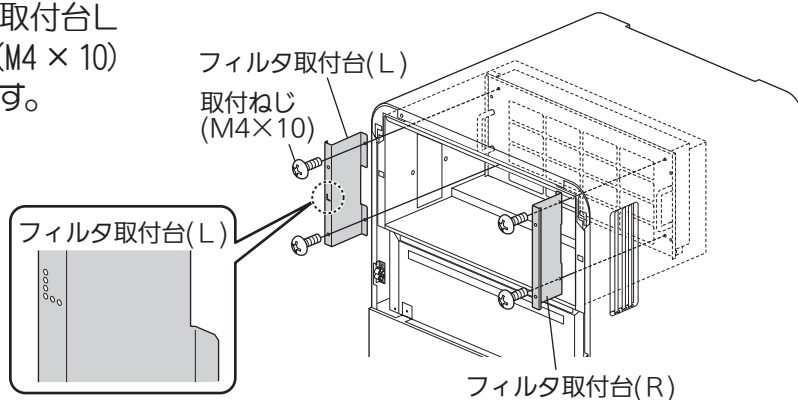


■ フィルタ取付台R・L

フィルタ取付台Rを右側、フィルタ取付台Lを左側に入れ、付属品の取付ねじ(M4×10)各2本で油吸着フィルタに固定します。

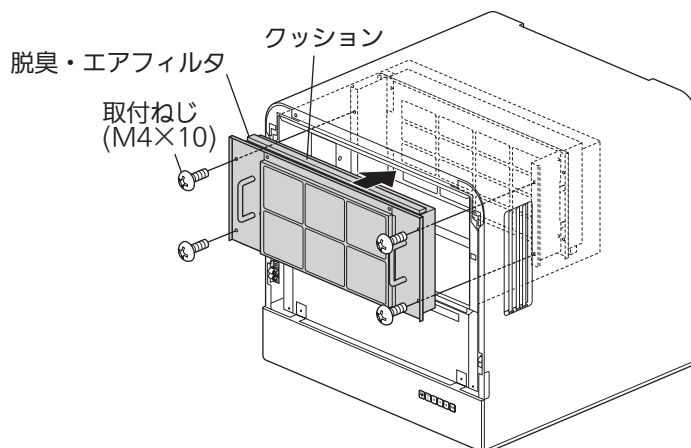
お願い

フィルタ取付台Lには「L」の刻印(穴)があります。取り付けの際は左右を間違えないようご注意ください。



■ 脱臭・エアフィルタ

脱臭・エアフィルタをクッションが貼ってある側を上にして入れ、左右各2ヶ所を付属品の取付ねじ(M4×10)でフィルタ取付台に固定します。

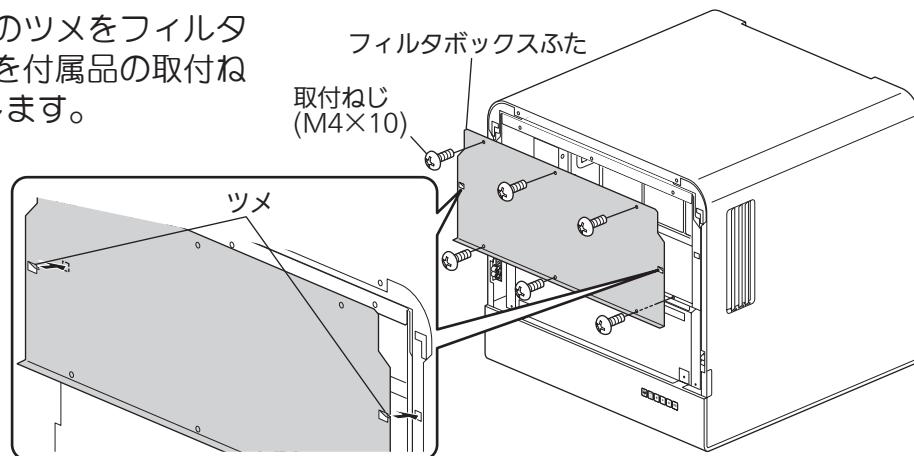


取り付けかた

5. フィルタボックスふたおよび前ふたの取り付け

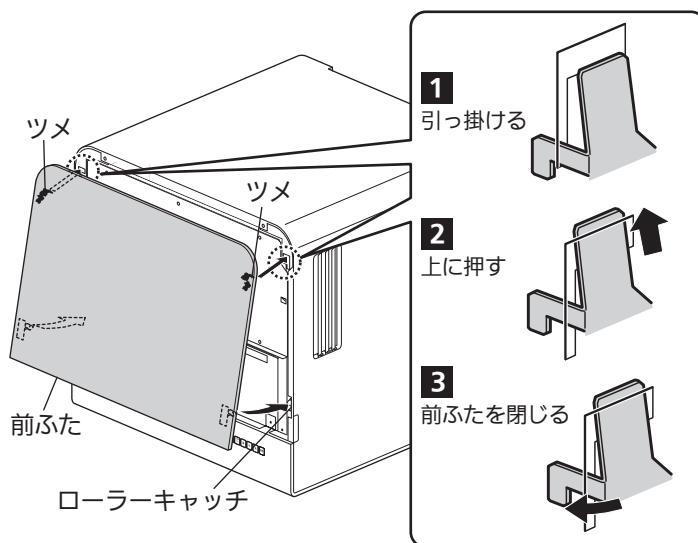
1 フィルタボックスふたを取り付けます。

フィルタボックスふた左右のツメをフィルタボックスに引っ掛け、上下を付属品の取付ねじ（M4 × 10）6本で固定します。



2 前ふたを取り付けます。

本体の引掛け部に前ふたのツメを引っ掛け、下側をローラーキャッチに「カチッ」と音がするまで軽く押し込んで固定します。



注意



落下注意

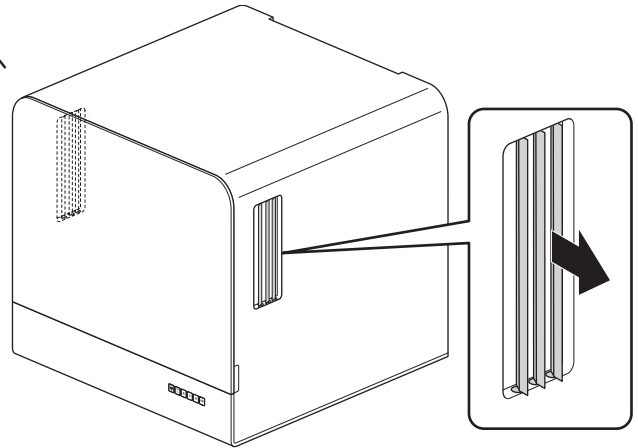
- 前ふた取り付け後は必ず、ツメ2ヶ所が確実にハマっているか確認すること
前ふたが落下し、けがをするおそれがあります。

取り付けかた

6. ルーバーの調整

ルーバーの向きを調整します。

左右側面にある吹出し口のルーバーの向きを、横向きで平行になるよう調整してください。



7. 試運転

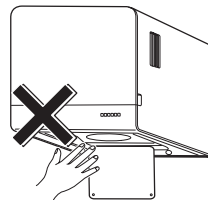
- 専用ブレーカを「入」にします。
- 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調が正しく運転されていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 製品の吹出し口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは工事で発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

⚠ 注意



接触注意

- 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
けがをすることがあります。



8. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

